

2024/10/3

第16回アカデミア交流会

「難治性下痢症に対する糞便微生物移植による腸内細菌叢と生体への影響と今後の展望」

場所：公益財団法人 都市活力研究所（オンラインとのハイブリッド開催）

参加者：55名（実地参加10名、オンライン参加45名）

JMBCでは、定期的にアカデミアとの交流会を開催しています。

今回は、大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 清水 健太郎先生にご登壇頂き、救急集中治療領域で実践されている糞便微生物移植（FMT）などによる腸内細菌叢再構築の治療についてご講演頂きました。

重症病態では、患者の腸内細菌叢が減少することで腸管から肺や多臓器へと炎症が波及すること、早期のシンバイオティクス治療により感染合併症を予防できること、難治性下痢症に対するFMTの特定臨床研究で得られた知見から、FMTが*Clostridioides difficile*感染症以外にも広く適応を広げられる可能性があることなどを、研究データを示してご紹介頂きました。

講演後の質疑応答でも活発な議論が行われ、大いに盛り上がりました。

清水先生



清水先生のご略歴

平成 3 年 : 大阪星光学院高校卒業

平成 10 年 : 大阪大学医学部医学科卒業

平成 10 年 : 大阪大学医学部附属病院医員 (第一内科研修医)

平成 11 年 : 国立大阪病院臨床研修医

平成 12 年 : 国立大阪病院消化器内科レジデント

平成 15 年 : 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター医員

平成 21 年 : 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部特任助教

平成 24 年 : 米国 Brigham and Women's Hospital で Research Fellow として従事

平成 26 年 : 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター

ご受賞歴

平成 19 年 : Emergency Specialty Award (36th Critical Care Congress)

平成 21 年 : 日本救急医学会科学論文賞優秀論文賞

平成 23 年 : 日本熱傷学会学術奨励賞
